

◆ 競技の条件

- 1 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 2 本大会は18ホールストロークプレーとする。
- 3 実施前に開催が不可となった場合は、順延にて実施することがある。
開催日未定（参加者に案内送付およびホームページにて案内）
- 4 開催された場合(12月23日)、翌日以降に繰り越すことはない。
- 5 18ホール終了後、研修生・プロの部の第1位がタイの場合は、ホールバイホールのプレーオフにて順位を決定する。
(東コース1番ホール、2番ホールの繰り返し)
日没等でプレーオフが行えない場合は、マッチングスコアカード方式において第1位を決定する。
それ以外の順位及びその他の部門において同スコアの場合の順位（ローアマチュアを含む）はタイとする。

◆ 競技成立の条件

- 1 各部門（シングル・ダブルス）、全員が9ホールを消化した時点で競技は成立とする
各部門（シングル・ダブルス）、全員が9ホールを消化できなかった場合はそのカテゴリーは競技不成立とし、プロの賞金は、支払われないこととする
- 2 天候及び日没等により18ホール消化できない場合（カテゴリー毎 全選手が9ホール以上の消化、プレーオフ含む）、各カテゴリーの最終組の最少消化ホール迄のアゲインストパーにて各カテゴリーのOUTスタート、INスタートでそれぞれの順位を決定する。
ただし、その場合のプロの賞金については、それぞれ50%ずつを支払うものとする
研修生・プロの部の第1位がタイの場合は、対象ホールの最終ホールからのカウントバックにて順位を決定する。

◆ 大会競技規則

- 1 ゴルフ規則
2016-17年日本ゴルフ協会ゴルフ規則およびOAKLEY SKULL CUP大会ルールを適用する。競技規定に変更もしくは追加がある時は、競技委員会より、開催当日のスタート前に全選手へ告知する。
- 2 シングルス競技部門
シングルス競技部門は2017年日本ゴルフ協会ゴルフ規則および下記の競技の条件、ローカルルールを適用する。
付属規則 I (C) 競技の条件 1. 使用クラブおよび使用球の仕様
a. 適合ドライバーヘッドリスト掲載の制限
b. 公認球リスト掲載の制限
c. ワンボール条件の採用
- 3 ダブルス競技部門
ダブルス競技部門はOAKLEY SKULL CUP大会ルールおよび下記の競技の条件を適用する。
1.使用クラブ：「SLEルール適合外品（高反発クラブ）」「2010年新しい溝の規則に適合外品」を使用することができる。
2.使用ボール：「公認球リスト」「ワンボール条件」は採用しない。
3.その他の規則は2017年日本ゴルフ協会ゴルフ規則に順じて運用する。
- 4 距離計測機器の使用（規則14-3）
距離計測機器（レーザー距離測定器、携帯ナビ使用可※距離のみを測定するもの）の使用を認める。プレーヤーは距離のみを計測する機器を使用することができる。しかし、他の条件(例えば、標高変化、風速、傾斜など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則14-3の違反となり、2打の罰。その後、さらに同じ違反(複数回違反)があった場合は、競技失格となる。
※ 距離計測器が他の条件(例えば、傾斜、風速、気温)を計測できる機能を持っている場合、その機能をOFF（使用できない状態）にして使用すること。
※ 距離計測機器を使用するためにプレーを不当に遅延させてはならない。
- 5 練習（規則7）
競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで2打罰を加えなければならない。ただしそのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。但し、ハーフトーンでの待ち時間中に指定練習グリーン（全ての練習グリーン）でのパッティング練習は可とする。
※ プレーを終えたばかりのグリーン上で球を転がすことも禁止する。
- 6 打順（ダブルス競技部門）
ダブルス選手権において、スタートホールにおいてのティーショットの打順は組み合わせせどおりとなり、それ以降はその前のホールのスコアの良かったチームがオナーの権利を持つものとする。チーム内の打順についてはチーム内の任意とすることができる。
- 7 プレーの中断、プレーの再開（規則6-8）
(a) 通常のプレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則6-8 b、c、d、に従って処置すること。
(ゴルフ規則70ページ参照)
(b) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格とする。
この条件の違反の罰は競技失格（ゴルフ規則6-8 b注）（ゴルフ規則70ページ参照）
(c) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。
険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
- 8 不当の遅延；スロープレー（規則6-7）
ラウンド中は常にプレーファーストを心掛けてプレーしなければならない。また、ホールアウト後、次のティーインググラウンドからプレーするまでの間も、プレーを不当に遅らせてはならない。ホールとホール間の遅れは、次のホールのプレーの遅れとなり、罰は次のホールに適用される。違反は次の通り競技委員会が定める。
「初回はその組に対して警告」
「2回目はその組の全選手に1打罰を付加」
「3回目はその組の全選手に2打罰を付加」とする。
- 9 プレーヤーは乗用カートでの移動、及び運転を認める。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
Par	4	4	5	3	4	5	4	3	4	36	4	4	5	4	3	4	3	4	5	36	72
Singles Competition Yardage	447	411	562	190	398	553	370	183	421	3535	424	383	540	368	118	360	199	441	550	3383	6918
Doubles Competition Yardage	400	346	526	171	373	497	338	164	373	3188	377	356	502	347	118	314	188	403	503	3108	6296

ローカルルール

◆ ローカルルール

- アウトオブバウンズの境界は白杭、修理地の境界は青杭又は白線をもって標示する。
- ウォーターハザードの境界は黄杭又は黄線、ラテラル・ウォーターハザードの境界は赤杭又は赤線をもって標示する。
- 排水溝は動かさない障害物とする。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 樹木の支柱、支線は動かさない障害物とする。樹木保護の巻物施設は樹木の一部とみなす。球がこの施設に止まった場合は罰なしに直下の地点からホールに近づかない1クラブレンジ以内にドロップすることができる。(拾い上げた球は罰なしに拭くことができる。)
- スルーザグリーンで、ピッチマークに球がくい込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げて拭き、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所にできるだけ近い所にドロップすることができる。ドロップの際、球はスルーザグリーンのコース上に直接落ちなければならない。
- グリーン上ではパターが破損の場合を除き、パター以外のクラブの使用を禁ずる。(本項の反則は2打付加)
- 動かさない障害物(固定スプリングラーヘッド等)による障害からの救済はゴルフ規則24-2により受けることができる。加えて、球がグリーン外の手ハザードでない所にある場合で、動かさない障害物(固定スプリングラーヘッド等)が(イ)グリーン上か又はグリーンから2クラブレンジ以内にあり、(ロ)球からも2クラブレンジの範囲内で、しかも(ハ)球とホールとの間のプレーの線上にかかっているときは、プレーヤーは次のような救済を受けることができる。その球は拾い上げて(a)ホールには近づかずに、(b)障害物の介在が避けられる、(c)手ハザード内でもグリーン上でもない場所で、球のあった箇所に最も近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球は拭くことができる。
- プレーヤーの球が乗用カートに当たった場合はいかなる場合もそのプレーヤーは1打罰、また球はそのままの状態プレーを続けなければならない。
- 乗用カートに備え付けてあるGPSナビシステムの利用を可能とする。
- バンカー内の石は動かせる障害物とする(規則24-1)を適用。
- 競技で使用するグリーン以外のサブグリーンおよび練習パッティンググリーンは、「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーはゴルフ規則25-3に基づいて救済を受けなければならない。
25-3 b 救済
プレーヤーの球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは球をあるがままの状態プレーしてはならない。プレーヤーは、罰なしに、次の救済を受けなければならない。
プレーヤーは球を拾い上げて、(a)救済のニヤレストポイントから1クラブレンジ以内で、(b)救済のニヤレストポイントよりもホールに近づかない所にその球をドロップしなければならない。救済のニヤレストポイントは手ハザード内やパッティンググリーン上であってはならない。救済のニヤレストポイントから1クラブレンジの範囲内に球をドロップする際、球は目的外のパッティンググリーンによる障害が避けられ、しかも手ハザード内でもパッティンググリーン上でもない所のコース上に直接落ちなければならない。規則25-3により拾い上げた場合、球はふくことができる
- パッティンググリーン上の球またはボールマーカーが偶然に動かされた場合、ゴルフ規則18-2、18-3、20-1は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、相手、またはそのいずれかのキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。
その球やボールマーカーはゴルフ規則18-2、(18-3、)18-4、そしてゴルフ規則20-1に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注)パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。
そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースされることになる。

※競技の条件及びローカルルールの追加・変更がある場合は、インフォメーションボード及びスタートホールに掲示し通知する。

競技の成立、荒天時の対応(競技中止・サスペンデット)

◆ プレーの中断と再開の合図について

- 通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。
- 険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
- プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

◆ スタート時間の遅延及び中断時間による遅延による競技短縮目安について

- ◎1時間までの遅延 シミュレーション上 各カテゴリー18ホール終了 ※プロ・研修生の部 プレーオフは日没のため最大2~3ホールまで
- ◎2時間までの遅延 シングルス部門18ホール終了、ダブルス部門は途中で終了の可能性あり ※プロ・研修生の部 プレーオフは困難
- ◎3時間までの遅延 各部門 9ホールの短縮競技を検討
- ◎3時間以上の遅延 全部門 短縮競技もしくは競技不成立の可能性あり

◆ オペレーション

- 天候調査は 大会本部で行い、中断及び競技の短縮の判断を行う
- クラブハウスへの避難はキャディマスター室及び巡回スタッフの指示に従う